

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川体育館・中央公民館
	所在地	東京都あきる野市二宮 683 番地
	所管課	あきる野市教育部スポーツ推進課
指定管理者	名称	あきる野市体育・文化施設運営事業体
	所在地	東京都中央区日本橋堀留町 2-1-1
	業務内容	1 体育施設・公民館施設及びこれに附属する設備の使用に関する業務 2 体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及に関する業務 3 体育施設・公民館施設の維持管理に関する業務 4 その他教育委員会が必要と認める業務
ホームページ URL		http://www.tama-spo.com/akigawa/index.html
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館等日数(日)	337	336	335	333	305
利用者(来客者)数(人)	265,215	267,748	280,439	280,941	238,661
前年度比(人)	9,428	2,533	12,691	502	△42,280
前年度比(%)	103.7	101.0	104.7	100.2	85.0
利用料金(売上)合計(千円)	13,745	13,412	13,830	13,910	12,848
前年度比(千円)	582	△333	418	80	△1,062
前年度比(%)	104.4	97.6	103.1	100.6	92.4

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入	指定管理料	45,983	45,902	45,811	47,861	48,471
	使用料収入(売上)	13,745	13,412	13,830	13,910	12,848
	自主事業収入	8,876	8,725	8,518	8,623	7,679
	その他の収入	0	0	0	0	0
	計	68,603	68,039	68,159	70,395	68,998
支出	人件費	21,696	21,989	20,671	25,368	25,042
	維持管理経費	39,465	45,762	43,460	39,515	35,247
	自主事業関係経費	7,663	7,811	7,448	7,417	6,846
	その他の支出	0	0	0	0	0
	計	68,825	75,562	71,579	72,299	67,134
収支(収入-支出)		△221	△7,523	△3,419	△1,904	1,864

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
① 館内にご意見BOXを設置し、頂いたご意見やご要望には適宜速やかな対応を心掛けております。 ② 体育館及び公民館の団体利用者には、使用終了後に使用状況報告書を提出頂き、各部屋の状況把握を行い、快適な環境維持に努めております。 ③ 担当課と連携を取りながら、施設の問題改善に随時取り組んでおります。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
【体育館・公民館】 【体育館】 各種目支柱の点検をお願いします。ネジが固く動かしづらいです。また、支柱運搬台車の車輪が壊れている。 →休館日にて点検と潤滑油の注入を実施しました。支柱運搬台車は修繕を実施しました。 大体育室一部コート、雨漏りがあり、使用できませんでした。 →修繕を行いました。雨漏りの原因が確実に判明するのは難しく、定期的に修繕をする必要があります。 【公民館】 音楽室内のカーテンが取れかかっている気になります。 →点検を行い、直しました。 調整室の鍵が壊れていて開け閉めが大変でした。 →業者による点検と修繕を行いました。 貸出用のポットが古くなってきたので交換をお願いします。 →新しくポットを2台購入しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
○トレーニング室内のサービスプログラムの本数を増やし、利用者へのサービス拡大を行いました。 ○自主事業にて幼児・小学生向けの体操教室を週3回から5回に変更し、実施しました。 ○大人数の大会等の際、館内ロビーにて軽食の販売を行いました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
① 電気使用量—体育館・公民館の未使用場所の消灯、業務用扇風機の設置等を行い節電に努めました。大体育室、小体育室、第一トレーニング室、公民館ロビーのLED化に伴い、使用電力量が前年比61.4%でした。 ② 重油使用量—快適性を保持できる範囲で給湯用ボイラーの運転時間短縮を行いました。 ③ 水道使用量—節水ご協力の案内掲示を継続して行いました。閉館の影響もありますが、前年比77.1%でした。 ④ LPG使用量—前年比68.9%でした。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
利用状況は、今年度の利用者数（自主事業教室参加者除く）が238,661人となり、前年に比べて減少となりました。要因としましては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から臨時休館が増えたことが大きな要因となります。特に3月は例年だと春季大会での使用、学校体育館が使用できなくなる期間で利用者数が増える時期なので、3月に開館できなかったことは大きな要因としてあげられます。また、台風による臨時休館もあり、そういった要因が重なったことが減少の要因となります。 自主事業は、参加者のニーズに合わせたスポーツ教室の展開、夜間の事業も年間通して実施しました。 収支状況はプラス決算となりました。支出面で社員配置の変更で削減、水光熱費の削減ができました。削減だけでなく、必要な修繕も行き、修繕費は前年より増えております。また、利用者からの要望にも出来るだけ応え、備品や消耗品の購入等も前年より増えています。 今後は利用者数の増加を目標に掲げ、個人開放枠の拡大、備品の整備、広報宣伝活動も積極的に行ってまいります。 修繕箇所に関しては年間計画を作成し、突発的な修繕にも対応できるよう計画します。 2020年度は感染予防対策を遵守し提案履行も進めてまいります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響を受け利用者が減少したものの、地域のスポーツの拠点として定着しています。また、シニア世代の健康への関心が高いため、これらのニーズにもよく対応し運営されています。引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる必要がありますので、更なる創意工夫による事業を企画し、新たな生活様式の中で適切な施設運営を行ってください。	
経費削減の取組	
館内の照明をLEDに変更したことにより、維持管理経費が削減されています。引き続き創意工夫により運営の合理化に努められることを期待します。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
事業全体の収支状況は、自主事業収入が伸びないことが要因のひとつと考えられ、数年マイナスのまま推移していることが懸念されていましたが、企業の努力により回復しています。今後は感染拡大防止対策を講じながら、市民のニーズに合わせたプログラム等を創意工夫により企画し、実施する必要があることから、指定管理者の更なる取組に期待します。また、施設管理については、日常の点検を徹底し、経費の節減及び事故のない運営に努めてください。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。